

1981 (毎月1回) 発行

8月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報

いずみ

(昭和56年7月1日現在)

村の人口

総人口 1,488人

男 750人

女 738人

出生 4人

死亡 1人

転入 3人

転出 5人

世帯数 463世帯

九頭竜国民休養地オープン



山内郵政大臣らによるテープカット

“みんなで越美北線を利用しよう。”

乗って残そう 越美北線

乗車助成金制度創設



観光客でにぎわう九頭竜湖駅

昨年十一月に成立した国鉄再建法により、国鉄財政の再建のため、輸送密度(一日一キロ当りの乗客数)が二、〇〇〇人未満の赤字ローカル線を昭和五十八年度と昭和六十年までの二段階に分けてバス輸送などに転換することになりました。越美北線は基準年度(昭和五十二年)と昭和五十四年度(三年間の平均輸送密度が、一、四六四人)で第二段階の廃止対象路線に該当しますが、四項目の除外対象基準

の一つに「積雪等による代替輸送道路の不通期間が十日を超えるもの」とあり、並行する国道一五八号が積雪等のため基準年度平均十一日間通行困難だったことが認められ、廃線という最悪の事態は避けられる見通しとなりました。しかし、第一段階の廃線、バス転換等の進具合や、基準の見直し等により再び存続に赤信号がつくことが予想され、これを回避するためには乗客数を増やして、乗車密度

が二、〇〇〇人以上となることが必要であります。

このため村では「みんなで越美北線を利用しよう」キャンペーンを展開してきましたが、さらにこの運動を強力に進めるため、八月一日より越美北線利用増進助成金制度を創設しました。

この制度は、越美北線を利用した村民に対し、五人以上のグループ又は団体の場合は往復運賃の半額、一人でも回数券を購入した場合には購入費の一割を助成するものであります。このため五人以上で福井まで往復すると、一人往復千三百八十円かかるところが六百九十円と安くなります。助成手続は、駅や役場に置いてあります申請兼請求書に必要事項を記入して、駅又は乗務員の証明をつけて役場へ提出すれば、直ちに交付されます。

越美北線を将来に亘って永久に存続させるため、この制度を利用して、一人でも多くの村民が一回でも多く乗車利用してくださるようお願いいたします。

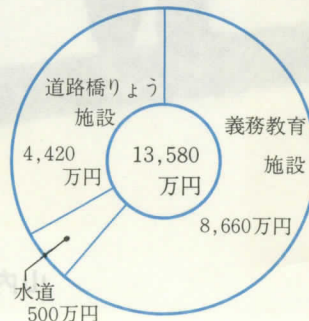
郵便局の簡易保険

保険料は和泉村でこんなに役立っています

毎月皆様から払込んでいただいております簡易保険の保険料は、中竜鉱山、下穴馬の二つの郵便局で平均一世帯当月月額一四・〇七八円となっております。

加入から満期までの長期間の保険料の大部分は、国の財政投融資資金として地方自治体、公共団体へ還元融資されております。和泉村では、簡易保険から別表のとおり融資を受けて村の発展のために役立てております。

この保険料は、特約のあるものは病気や怪我で入院された場合の入院保険金として支払いされ、基本保険料は満期を待たずに不幸にして死亡された方の死亡保険金と一定の期間を経過しているものには剰余金も支払いされます。めでたく満期を迎えられた方の保険金、剰余金として支払いされ加入者各人の貸付金としても広く利用されています。



| 起債年度 | 施設名 | 融資額 (万円) | 完済期限 |
|------|------------------------|----------|---------|
| 36 | 大納中学校 | 240 | 57.3.31 |
| 38 | 大納中学校 | 510 | 58.3.31 |
| 40 | 簡易水道 (朝日、板倉外2) | 500 | 66.3.31 |
| 42 | 朝日小学校 | 2,110 | 68.3.31 |
| 44 | 道路橋りょう (角野橋) | 200 | 65.3.31 |
| 47 | 林道 (荒島、蛇鏡線) | 500 | 58.3.31 |
| 48 | 大納小学校 | 5,800 | 74.3.31 |
| 48 | 林道 (荒島線、蛇鏡線、野々小屋線、藤倉線) | 1,220 | 59.3.31 |
| 54 | 林道仏谷線 | 1,100 | 65.3.31 |
| 55 | 林道 (鮭ヶ洞、仏谷線) | 1,400 | 66.3.31 |
| 合計 | | 13,580 | |

角野前坂道場の仏様等を 村指定文化財に指定

村文化財調査委員会では、昨年より村内各道場の文化財の調査をすすめてきましたが、この程一応の調査が終了しましたので、その結果を村教育委員会に答申しました。

これを受けて村教育委員会では、その中でとくに古くしかも保存のよい角野前坂道場の次の四点を村指定有形文化財に指定しました。

○投げさい銭跡のある壇縁および内陣

これは当穴馬地方のみにある投げ銭の風習を物語るもので夥しい痕跡は古くからの信仰のあつさの証明とともに民俗的にも興味があり保存の価値があると認められました。

○阿弥陀如来立像および木仏免許状

免許状により西本願寺第一世の准如上人より下賜されたものであることがわかります。県の文化財保護審議委員の武藤正典先生の鑑定によりまずと、桃山時代の作で浄土真宗の本尊木仏としては最も古く貴重なものと認められました。

○方便法身尊像（絵像）および裏書きの軸

裏書きの字が不鮮明ではつきりした年代は不明ですが、絵像の独特の風格と、とくに文様が截金（きりがね）手法という非常に繊細な古い様式（鎌倉時代）であることから六百年以上経っていると推察され、今回の調査一番の収穫と思われ、更に詳しい調査を予定しています。

○御文章第五帖一冊

どの道場にも必ず御文章はありますが肉筆のものはこれだけで、とくに巻末に証如上人（本願寺第十世）の著名と花押があり、貴重なものと認められました。



阿弥陀如来立像
方便法身尊像



方便法身尊像

◆健康優良学校(小規模校)◆

県一に大納小学校

連続入選



タイヤとベルトなどを使っての体力づくり

心と身体のバランスのとれた大勢の健康優良児を育てるにはどうすればよいか。……そんな発想から生まれたというこの表彰制度は、文部省、

厚生省後援の朝日新聞社主催事業として昭和二十六年にスタート。本年は第三十一回をむかえる。昭和五十四年からは、全国

特別優秀校制度に改められ大規模校(十九学級以上)中規模校(七学級~十八学級)小規模校(六学級以下)各一校が都道府県代表となり、厳しい審査を受けて全国表彰が決定される。

大納小学校の連続県一は県下では武生西小・志比小につぐ三校目であり、頭と心とからだの健康を教育の中核として「生き生きと力いっぱい活動する子ども」をめざし、自ら健康にとりくむ子どもの育成をはかっている。

本年度は、今までの活動内容を検討し、一層内容の充実をはかり家庭、地域との連携を強化しているのが特徴である。

- (1) 体力づくりの施設充実
タイヤや電柱、鉄棒、ベルトを使って動く方式に改善した。(教師、PTA共同作業)
- (2) 「仲よし広場」の活動内容の充実
こいのぼりの製作、手作り楽器の製作、「郷土かるた」の定着
- (3) 「特別活動」の計画的な指導により児童の自主的な活

動を促進する。(土曜四校時、児童会各部活動実施)

- (4) 体育的行事の精選と活発化
 - (5) 保健、安全、給食指導の年間指導計画の修正
 - (6) 歯みがき、目の体操、乾布まさつ、早朝マラソンの徹底と励行
 - (7) 家庭ぐるみ、地域ぐるみの健康活動の促進
- 家庭健康の日(第三日曜)
大納の子どもをよくする会、PTA保健委員会の活動
杉原精一校長は、「連続入選、県一、今年最後の全国審査のチャンスだと考えています。高校野球の甲子園出場するのと同じ気持ちです。全国表彰をめざす各代表校はいずれも独自の創意工夫と継続的な研究実践の強豪ばかりです。私どもも福井県代表として恥じないよう力いっぱいやります。目下夏休みも返上、全国特別優秀校に入選すべく実践資料を作成中」と喜びながら決意を述べている。

大納小学校表彰歴——昭和五十一年以降——

- 昭和51・10・17 和泉村より国語教育の成果を認められ表彰を受ける。
- 昭和51・10・20 中日教育賞受賞(国語教育)
- 昭和51・11・3 財団法人博報賞受賞(国語教育)
- 昭和54・2・15 体育優良学校表彰(福井県学校体育研究会)
- 昭和54・3・15 村教育委員会表彰(体育研究)
- 昭和55・11・3 健康優良学校 福井県代表(小規模校)朝日新聞社
- 昭和55・11・5 健康優良学校県一(小規模校)福井県教育委員会
- 昭和55・11・19 「はあと記念財団」研究奨励補助金交付される。(へき地複式教育研究について)
- 昭和56・6・30 健康優良学校県一(小規模校)決定 福井県教育委員会

病は手から

食中毒には三種類

食中毒は、大きく次の三つに分けられます。

細菌性食中毒と化学性食中毒（農薬など）、それに自然毒（ふぐやキノコなどによるもの）です。このうち、細菌による食中毒が最も多く、全体の八割から九割を占めています。

細菌性食中毒のうち、主にブドウ球菌と大腸菌による食中毒が、ふだんの手洗いと深いつながりを持っています。

まずブドウ球菌ですが、これは人や動物の皮膚、鼻、のど、頭髮、つめの中などにいます。

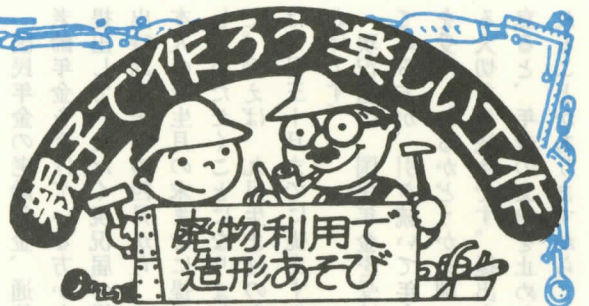
この状態では害になりませんが、いったん人の手を経て食べ物などに付着して増殖を始める、食中毒の原因になります。ブドウ球菌によって食中毒を起こす食品には、シュークリームやクリームを使ったケーキ、おにぎりなどが

あります。

また、大腸菌はふん便の中だけにいて、しかも口以外のところからは人体に侵入することはありません。

このように、ブドウ球菌と大腸菌による食中毒を防ぐには、いかに手洗いが大切かわかります。

また、同じ細菌性食中毒の原因となる腸炎ビブリオは魚貝類に付着していますし、また、サルモネラはもともと動物の体内にすんでいますので魚貝類や動物性食品の第一次汚染が考えられます。ですから、二次汚染つまり、食中毒などの予防には「清潔（調理器具など）」「じん速（早く調理し、早く食べる）」「温度管理（冷却と加熱）」の三原則を守って食品を扱うことが大切ですがさらに忘れてはならないのが「完全な手洗い」です。



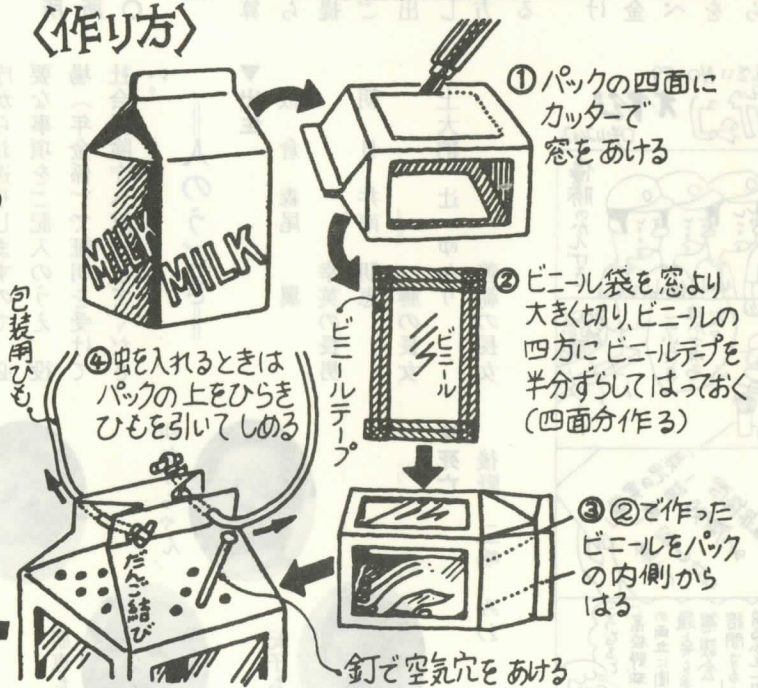
空きパックで

虫かごをつくらう

〈用意するもの〉

- 牛乳などの500ml入りパック
- ビニール袋
- ビニールテープ
- 包装用ひも
- カッター
- 釘

〈作り方〉



できあがり

米をもう一度見なおして

消費拡大にご協力ください

水田利用再編対策(転作)

は単に米の減産を目的とするものではありません。稲から自給率の向上を図る必要のある小麦、大豆、飼料作物などへ転作を行うことよって米生産を需要に見合せて計画的に調整すると共に農産物の総合的な自給力を向上させようとするものです。

それでは米の生産量は、どの位かといえますと、計画生産量で一〇五五万tを計画しており、この数量は政府の需要量として七三五万t、農家消費量で三二〇万tとなっております。

しかし、生産数量は、これより実際には多く一・三七五万t程度の生産数量となるため、この生産推定量一・三七五万tから計画需要量の一・〇五五万tを差引いた残り三二〇万tが余ることになり調整を必要とすることになってきます。この三二〇万tの調整をするためには面積にして六七七千haの減反が必要にな

ります。本年度の本村に割り当てられた転作面積をみますと三・八haとなっております。

そこで今、私共の一番大切なことは、「需要に応じた米の生産」をすることです。昨年は異例の冷害により大巾な減収となりましたが最近は何々米の生産量が増大し、農家の方々も稲作に対する強い関心を持っている反面、経済の進展と共に食生活も多様化し米の需要は相変わらず減少傾向を続けております。

この結果、昭和五十四年度における国民一人当り年間消費量は七九・八kgとなり昭和三十七年のピーク時の約三分二に落込んでいます。家庭消費量で見ますと外食、米原料の菓子類を除いた一人一ヶ月当りの消費量は生産世帯八・九kg、消費世帯五・四kg平均六・〇kgとなっております。

このため政府としては、われわれ日本人の食生活をもう一度見直し、経済的にも、栄養的にも、すばらしい主食と

して、べんとう持参を奨励したり、学校給食についても一回でも多く米食を取り入れていただくなど米の消費量の拡大を呼びかけておりますので皆さんも本事業に格別のご協力を願います。

なお、現在、配給されている米、あるいは米に関するいろいろな質問がありましたら左記へご相談ください。

◎大野市陽明町三丁目二〇番

福井食糧事務所大野支所

配給米相談所

☎六二二六五〇

誕生月には現況届

国民年金の老齢年金、通算老齢年金を受けている方から提出していただく現況届の提出時期が去年の四月から、ご本人の誕生月の末までに提出していただくことになりました。例えば、九月生まれの方は九月三十日までに提出するわけです。

現況届は、国民年金を受けている方が、引き続き年金を受けられるかどうかを調べる大切な手続きです。提出を怠ると、年金の支給を止められることがありますから、ご

俳句コーナー

一、宵いやみを 光かすかに とぶ螢
水 蓮

一、つゆあけの 暑さ身にしむ 日本晴れ
古島まさえ

注意ください。

現況届の用紙は、提出時期のおよそ一カ月前に社会保険庁からお送りしますので、必要な事項をご記入のうえ、役場(年金係)で証明を受けて社会保険庁へ返送してください。

人のうごき

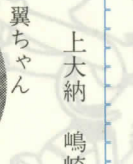
▼出生

板倉 森尾 翼

朝日 井南 朋恵

上大納 辻 ゆかり

善範の長女



▼死亡

後野 三嶋 みわ

87歳

水い No.159

優勝のかんげき

このいんき泣かされるな

「球児の栄誉」調査

「高校野球と学業の両立に関する問題」をテーマとする「懇談会」でも諮問する必要があるかもしらんぞ吉高野連さん!!